

春号

おおた文化の森

「森で、花開く春」

特集

新たな自分の発見、新しい人との出会いの場

初夏の緑とともに「文化の森フォーラム」開催

明るい楽しい開かれた文化の森を、ますます魅力に富んだ居場所にするために、できるだけ沢山の文化プレイヤーが一堂に集まって、語り合おうとの声と気運が年々増えています。2008年度「文化の森フォーラム」が5月17日(土)午後1時30分から午後6時まで、文化の森5階多目的室で運営協議会の主催で開催されます。

「文化の森フォーラム実行委員会」で話し合っ、メインテーマをかがげました。「自分を発見、出会いから！ 輝くボランティア」です。

文化の森の活動を通じて、新しい自分の発見、そこに人々や地域や仲間との出会い、逆に出会いを通じて、自分を発見するきっかけを期待する。活動に参加している中で、文化ボランティアとして成長し、自他ともに納得できる毎日が活き活きと輝いてくるのではなかろうか。などなどの思いが集約されたメインテーマです。

フォーラムは三部構成にしました。



講師の大久保邦子氏

第一部 (午後1時30～2時20分)

文化ボランティア活動の先駆者であり、全国の活動グループを温かく優しく指導しておられる大久保邦子先生のご講話を約1時間お聴きします。大久保先生には、文化の森運営協議会が7年前スタートした頃から、活動の推移を見守っていただいております。文化ボランティアは一般のボランティア活動に比べて、少し特異でもありますが、その真髄と感動をわかりやすく語っていただけたと思います。

第二部 (午後2時30分～4時)

フォーラムの名にふさわしく、できるだけ多くの参加者が自由に本音で語り合ひましょう。「文

特集

新たな自分の発見、新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。

化の森に飛び込んだきっかけ」「体験を通しての感動物語、失敗談」など気楽な肩を張らないムードの中で、十分時間をとりました。どんな発言が飛び出すか、興味津津です。



前年度「たねまき祭」でのシンポジウム

第三部（午後4時30分～6時）

なんといっても第二部まで少し硬い時間が経過しますので、心身を癒す「交歓会」を準備します。第二部で言い残したことなど自由に、ドリンクを酌み交わしながら歓談し、日本語と話術のプロ・文化の森育ちの落語界地元のプリンス春風亭柳朝師匠に登場していただきます。落語一席とトークショー的一幕、それに交歓会に絶妙の進行をお任せし、さわやかなひとときを過ごしましょう。

このフォーラムの数時間を過ごすうちに、文化の森をベースキャンプとした、今年度の文化プレイヤーに支えられた運営協議会の活動や運営の方向性が、自ずから眼前にひろがり、熱気が湧き出て来るように思えてなりません。

運営委員 福野 幸雄

第2回 フォレストメーツ チクリ一筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年下期（10月～3月）

企画実施アルバム

200年の下期（10月～3月）に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話：03-3772-0770

FAX：03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号（FAX）をご記入願います（1枚のはがきに1講座）。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版

2008年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

まちづくりフェスタ レポート



参加団体・個人の活動紹介

～ 第1回文化の森まちづくりフェスタを終えて ～

1月27日(日)「第1回文化の森まちづくりフェスタ」が開催されました。出展者、一般来場者が子どもからお年寄りまで500人余り来館され、十分に楽しんでいただき盛会裏に終わることが出来ました。

「まちづくり実行委員会として初の試み!!」

「まちづくり実行委員会」では、平成19年度の新企画計画時に実行委員全員が一丸となって1つの目標に向かって総力を結集する企画を実施しようと「まちづくりフェスタ」を提案し、まちづくり実行委員会のメンバーはもとより、日頃まちづくり活動をしている人たちが元気になるようなイベントが開催できたら、地域が一層元気になる!! そんな思いで、まちづくり活動を実践している団体・個人の「ネットワークづくり」をコンセプトに、昨年4月に「まちづくりフェスタ実行委員会」を立ち上げ、たたえあう世代をつなぐまちづくりをサブテーマとして推進してきました。

その結果、「環境・健康・食」をテーマとした講演、講座、ワークショップと、主として大田区内で日頃まちづくり活動を実践している団体・個人の皆様方に集まっていた区民の方々にその活動を紹介する展示やワークショップ、グッズの販売等を行いました。

「脱メタボなお食事(直井和子先生)」「宮沢賢治の“地”的世界(加藤碩一先生)」「ユニバーサルスポーツ(季節子先生)」「健康舞踊体操(大島洋子先生)」の講座は多くの参加者を得て好評でした。また、「フレスコ画に挑戦(大野彩先生)」「ハーブせつけんに挑戦(牧野ふみよ先生・草香もえ先生)」も多くの子どもたちが挑戦され楽しいワークショップとなりました。異文化交流実行委員会による「各国のお茶を楽しむ交流喫茶」では、各国のお茶を飲みながら休憩・懇談の場所として、癒しの場を提供してくれました。

「85の活動団体・個人の参加でお互いをたたえあう!!」

今回、参加を公募したところ、趣旨に賛同された56団体・個人の参加、更に大田区区民・国際交流課区民協働担当が主催したNPO区民活動協働フォーラム(1/15～/25開催)に出展した団体が大田区の協力により、29団体が特別参加され、合計85団体・個人の参加があり大変充実したイベントとなりました。

まさに行政との協働ができたのではないかと思います。そして出展団体・個人に

特集

新たな自分の発見、
新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢

まちづくりフェスタ レポート

日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。

実行委員会いきいき

文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。

大田の顔キラリ

今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。

元気印 文化プレーヤー

文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり

おおた
花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。

第8回 フォレストメーツ

チクリ
筆

外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

は、その活動をお互いにたたえあうと共に、来場者からもたたえてもらい、10団体・個人に賞状とささやかな賞品を、また出展団体・個人全員に「たたえあったで賞」の賞状を授与し、明日への活力を養っていただきました。
賞状に書かれた文面は以下の通り「まちづくり」を1文字ずつ頭につけてこれからの活動をより活発化させるユニークな文章にしました。



【あなたがまいにち(毎日)の暮らしのなかのちいき(地域)に根ざした活動を通して、人とのつながりを大切にしながらくふう(工夫)を重ねるリーダーであることをたたえ、ここに深く感謝の意を表します。これからも一緒に“まちづくり”!!】。

「フレスコ画に挑戦！」講師は大野彩氏

また、2台の幻灯機を駆使して講演された「まちづくり」のスペシャリスト愛知産業大学大学院教授のユニークな基調講演も好評でした。セレモニーでは、来賓として野田隆大田区副区長が挨拶され賞賛と励ましのお言葉を頂戴しました。更に、大田文化の森合唱団による「大田区歌」並びに「大田讃歌“坂”」の合唱もイベントに花を添えてくれました。
最後の交流会では、お互いに情報交換を行って、楽しいネットワークづくりができ、今後の活動の発展に資する場を提供できたと思っています。「まちづくり実行委員会」のこの1年間の血と汗が結実した瞬間でした。



講演「宮沢賢治“知”的世界」講師は加藤碩一氏

“大勢の協力者に支えられて!!”

今回の「フェスタ」が地域の活性化に少しは貢献できたのではないかと、また大田区の緊急2カ年計画にありますように地域活動の担い手を増やし、地域力を高めるきっかけづくりになったのではないかと思います。

参加者、来場者の皆さんのアンケート結果も、「大変良かった」・「楽しかった」・「参考になった」などと好評を得ました。

反省点も多々ありましたが、それは次回以降に生かすこととし、来年も開催に向けて挑戦していきたいと思っています。

また、今回の「フェスタ」の趣旨に賛同して下さった多くの近隣企業から、協賛、協力をいただきましたことは、感謝と共に今後の大きな活力となりました。

最後になりましたが、本フェスタ開催に向けて奔走された「まちづくり実行委員会」のメンバーの方々、並びに当日ご協力いただいた区の職員の方々、異文化交流実行委員会の皆様、そして多くのスタッフの方々に心から感謝申し上げます。有難うございました。

運営委員 宗 正雄



2007年下期(10月~3月) 企画実施アルバム

200年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704

E-mail: bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

中屋 錦江 (なかや きぬえ)

大田区役所跡地の問題で、地元では気がかりな事として地元区議会議員を中心にいろいろな論議があり、「どんなものが出来るのだろう」「何を作って欲しい」とか、たくさんの意見が出ました。当時のことを思い出すことがあります、今は遠い日のように懐かしく思い出します。

今年で八年目に入ろうとしておりますが、地元・区民に定着したくさんの方々に利用していただき良かったと思う一人です。開館当初、いろいろな説明会に積極的に参加し、私の所属する町会ではカラオケ・盆踊りなどのお手伝いと出演もさせていただき、楽しい思い出です。今回、運営協議会委員という機会をいただきまして、「ワクワクドキドキ」でした。たくさんの人々との出会いができる喜びの「ワクワク」、そして自分は何ができて「お役に立つ事を見つけなければ」という「ドキドキ」でした。そんな不安はいとも簡単に裏切られました。素晴らしい方々との出会いが待っていました。

三期の運営協議会委員の皆様は人生経験豊富で、知識、相互の理解力もあり、力強く感じます。一期より引き継がれ、二期、三期は更なる新しい取り組みも入れて、各実行委員会、文化プレーヤーの皆様と、もっともっと理解を深め連携し合い、足並みをそろえて行けたらいいなあと、切に思っております。議論も大いにして、信頼できる人間関係にして行けたら委員として幸せです。微力ではありますが皆さんと良い仲間作りをして行きたいと思えます。

※このコーナーのタイトル文字は寄稿者の直筆によるものです。



元気な大田っ子が育つように

私たち「子ども若者たちの実行委員会」では、委員一人ひとりが、子ども若者に何をどう関わればいいのか、真剣に知恵を出し合ってきました。

子どもが外で遊ぶ場所が無い、安心して出歩くことができない等、子どもたちの過ごし方も様変わりしている今日、せめて文化の森で日曜日や夏・冬休みを利用して、見て、聞いて、体験できることや、伝統文化や年中行事を知ることで、お互いの気持ちを大切に、心豊かなひと時を過ごし、家族の共通話題が和となり、輪となればいいのかと考えました。また、『大田区の子どもを元気にしよう』のテーマを掲げ、次の三つの柱を中心に活動しています。

1. 実験したり作ったりして楽しむ、科学や実験の分野
 2. 本を読んで聞かせる、音読分野
 3. 伝統文化や年中行事、さらに、おばあちゃんの知恵を拝借し共に体験する分野
- また、他の実行委員会との共同企画も考えています。

具体的な企画として、

1. 科学や実験の分野 「わくわく科学の森」(科学の実験)、「ワイヤー・アート～イメージを形にしてみよう」(創意工夫)、「地球をリサーチ」(環境問題)

特集

新たな自分の発見、
新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり

おおた
花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

2.音読の分野 「音読の会」(絵本の世界へご一緒に)、「おはなしのへや」(幼児、小学生対象)

3.伝統文化や年中行事の分野 「こども落語講座」(話し方や間の取り方、演ずる楽しさを学ぶ)、「五節句に因んで被せ綿を作ろう」「日本の年中行事を、お茶、お花で体験しませんか」「ひなまつりを親子で楽しむ」等を実際に体験

など、多くの企画を実施してきました。また、生きていく上で人に迷惑をかけない為のマナーを時折り取り入れ、好評です。

毎日、殺伐としたニュースばかりが目につくこの頃、人を思いやる心、感謝する心を少しでも教え、伝えていければと思います。

来年度は中学生、高校生の参加が増えて、実行委員も増えて、もっといろいろな角度から考え、賢く、元気な大田っ子が育つように切に願い、一同これからも頑張ります。皆さんの知恵を貸してください。



文化プレーヤー 金沢 マサ子

4月～6月 運営協議会【会議】スケジュール

※問い合わせは月～金(9:00～18:00)の間に願います。

■文化会議(毎月第1・3金曜日)19:00～21:00(第2集会室)

4月4・(7)・18日、5月2・16日、6月(2)・6・20日※()は臨時文化会議

*文化会議は、運営協議会の最高議決機関で公開です。いつでも傍聴できます。

■役員会(文化会議のある週の火曜日)13:30～15:30(講師控室)

4月1・15日、5月13日、6月3・17日

■実行委員会

●芸術事業実行委員会(第2金曜日19:00～21:00)

4月11日、5月9日、6月13日

●誰でも楽しめる実行委員会(第1火曜日19:00～21:00)

4月1日、5月6日、6月3日

●子ども・若者たちの実行委員会(第2金曜日13:30～15:30)

4月11日、5月9日、6月13日

●まちづくり実行委員会(第1木曜日10:00～12:00)

4月3日、5月1日、6月5日

●異文化交流実行委員会(第3木曜日18:30～20:30)

4月17日、5月13日、6月19日

●サロン交流会実行委員会(火曜日19:00～21:00) 6月7日

●文化の森フォーラム実行委員会(第3木曜日19:00～21:00)

4月17日



2007年下期(10月～3月)

企画実施アルバム

200年の下期(10月～3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1

大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770

FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版

2008年4月1日発行

発行 大田文化の森運営協議会

編集人 福野幸雄

〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1

電話 03-3772-0770

FAX03-3772-0704

E-mail:bunkanomori@nifty.com

大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

大田の顔キラリ

ジャパンプルー・大田の藍・池上の藍

せんこうじょう としゆき
～高橋染工場 高橋利至さん～

サッカー・日本チームのユニホームカラーで知られる「ジャパンプルー(日本の青)」は明治初頭に来日したイギリスの化学者アトキンソンが「日本全国至るところ、青色衣装のあらざるなき」と紹介し、藍染めが日本に根付き、日本全体が「青」色に見えた印象を伝えたのが由来です。藍染めの歴史は、紀元前4500年頃のインダス文明遺跡に藍染め工房が発見されていることから非常に古いものです。日本には、3～4世紀頃に中国から藍草(たदैい蓼藍)の渡来とともに藍染めの技法も伝わり、進化を遂げて現在に至っています。

今回の「大田の顔キラリ」は、大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんを、池上1丁目にある工房にお訪ねしました。工房内には見事な藍色に染め上がったはんでん半纏のための布がシンシ(細く切った竹を等間隔に布の裏に弓形に張り布が縮まないようにした)吊りされ、一隅には染めのためのあいがめ藍甕を地中に埋めたかめば 甕場が設けられていました。高橋染工場は江戸時代の末頃に、当時十数代続いていた川崎の紺屋から分家し、現当主の利至氏で四代目となる紺屋です。



四代目高橋利至さん



百年以上の歴史を持つ旧染色工場の建物(甕場のある町屋建築)写真提供: 大田区郷土博物館蔵

現在の染工場が建つ前にあった旧染工場は百年以上の歴史を持つ建物(写真)で、その模型は大田区立郷土博物館に展示されています。高橋さんに藍染めの今後の展望について語っていただきました。

特集

新たな自分の発見、
新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり

おおた
花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

「藍染めは下絵、糊つけ、そして何回も染め重ねをして、染め上げる伝統的な手工技法によります。昔ながらのこの技法を大切に継承しながらも、コンピューターを導入するなどの新しい技法も取り入れて、藍染めがより身近で親しみのある魅力的なものになるようにしたいと思います。」

藍染めの藍は、色調と濃さの関係で色々な青に染め上がります。大田区は海・川の「青」や羽田飛行場の空の「青」など色々な「青」の要素を持つ藍染めのようなまちです。そんな大田にとって大切な色である青＝藍を、高橋利至さんは高橋染工場とともに守り、いつまでも誰にでも愛される藍として、新しい技術も取り入れて歩まれることと思います。

オオタ・ブルー キラリ

運営委員 奥田 和子

元気印 文化プレイヤー

江戸文化へのアプローチ



松田 博さん

文化の森との出会いは、平成14年度の公募企画に応募した講座『銭湯』再発見です。

その後、『おたの文化』再発見、「歌舞伎への招待」と講座を実施してきました。

講座は江戸時代の暮しの文化や町人文化に焦点を当て、その魅力を探ったものです。

今回、芸術事業実行委員会に参加し、1月から「楽しい歌舞伎講座」を担当することになりました。6月からは「浮世絵へのいざないⅠ、Ⅱ」の企画(詳細は7ページ参照)を担当する予定です。

現在、歌舞伎や浮世絵は一部の好事家の高尚な文化だと思

っておられる方もありますが、かつて江戸時代の歌舞伎や浮

世絵は、庶民の最大の娯楽の一つでありました。

芝居や浮世絵は、映画や写真、印刷などの新しいメディアの出現で一般大衆の娯楽から遠ざかったと言う経緯がありましたが、現在歌舞伎は海外公演など、新分野への取り組みや若い歌舞伎役者の台頭で話題性もあり、外国人や若いファンの方々も増加しております。

浮世絵も海外に流失した著名作品の里帰りや、描写の解像技術の進歩により新しい研究が進みマスメディアを賑わしています。

270余年の歴史を持つ江戸文化の周辺には、今だに解明されていない謎が多い。

歌舞伎や浮世絵など江戸時代に生まれた文化の魅力を、現代の視点で見直し、多くの方々楽しんでもらえる「江戸文化の新しい世界」が拓ければと思っております。

公募企画提案者から、文化プレイヤーとして毎月の実行委員会に参加するようになりました。今後も文化の森が、伝統文化を継承する発信地としてますます発展することを願い、微力ながら尽力したいと考えております。



「楽しい歌舞伎講座」講師は藤澤茜氏

文化プレイヤー 松田 博



2007年下期(10月~3月) 企画実施アルバム

200年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おたの文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



巨大なガーデンや立派な花畑でなくてもよい。街を往くとき、ふっと思いが浮かんだり、はっと気がつくスポットが沢山あるはず。そこに花があれば楽しめばよい。なければ植える方法がないか考え実行できるかもしれない。こんなスポットが百景もできれば、街が華やぎ、人々が甦る。一昔前、群馬の市民楽団が草の根から成長して「ここに泉あり」と評されたことがあった。

このシリーズは、区民の皆様の推薦スポット。ご連絡を歓迎します。(編集部)

地域環境の向上を皆さんとともに ～入新井公園の活動～

入新井公園の一角にある「草地」の写真がこのページに掲載されたのは昨年春のこと。その後地域からも「ここに花壇を作ってほしい」との要請があり、近くで大森駅前花壇の管理活動を続けている当会に声がかかりました。公園で更地になっている場所に新しく花壇を作るなんて楽しそう！と、ワクワクしながら引き受けました。

さて、どんな花壇を作ろうか？もちろん花壇は「作って終わり」ではなく、むしろそこからがスタートです。植えた後の花の手入れを誰がどのようにできるのか、植え替えはどんな頻度で行うのか、そのための費用はどこが負担するのか、それらの条件を整えるのも、花壇作りにはとても重要な要素です。そんなことを考えながら花壇の前に立って周りを見てみると、周囲にはマンションがたくさんあります。庭を持たない地域の皆さんの共通の庭として、植え替えを一緒にできたら楽しそう。自分の手で植えた花に愛情を持ってくれて、普段の手入れにも参加してくれたらうれしいな…そんな思いも湧いてきます。身近な公共空間である花壇の手入れを通して、地域環境向上への思いを高めていただくためのきっかけを作ることは、当会の活動の柱のひとつでもあります。

駅前の花壇は人通りの多い空間であり、その手入れについては、季節ごとに行うべき管理作業の内容や回数があらかじめ定められています。またそこに植える花も、基本的には一年草が主体となっており、年に何回かは一部の宿根草部分を除いて全面的に植え替え作業をしてリニューアル感を出す、という設定になっています。公共の花壇としては比較的、手厚く管理されているのではないかと感じています。

公園の花壇については、ふれあいパーク活動など地域の方たちが愛情を込めて定期的な手入れがなされている場所以外、植えられた花は次回の植え替えまでは植えっぱなし、ということが多いようです。植えっぱなしにしておいても、季節を覚えてくれるように次々と花を

特集

新たな自分の発見、 新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

咲かせる宿根草で充実した花壇を作ることも可能ですが、きちんと設計して作らなければ、ただの荒れ放題の花壇になってしまいます。

今回私たちは、駅前花壇と公園花壇の両方の「いいところ取り」をした花壇設計を考えました。駅前花壇のように頻繁に手入れをしなくても見栄えのする宿根草をベースとし、植え替え作業への地域の方たちの参加の楽しみを作るための一年草エリアも作りました。当面は、当会の大森駅前花壇チームが、駅前花壇の管理作業の後に手入れをしています。この花壇ができたことをきっかけに、新たに会員になって手入れに参加くださっている近隣の方もいらっしゃいます。また、駅前花壇では植えた花が盗掘の被害にあうことが多々あるのですが、この花壇では今までそうした被害がまったくありません。地域の皆さんの意識の高さと配慮の表れと感じています。5月には現在植えられている一年草の植え替え作業を行う予定です。地域にもお声をかけさせていただき、ともに「地域の庭」をきれいにする活動ができることを楽しみにしています。

[地図はこちら](#)

NPO法人大田・花とみどりのまちづくり 牧野ふみよ

第8回 フォレストメーツ チクリ一筆

「広がれ広がれ 集いの喜び」

八年目を迎える「大田文化の森」、おめでとう!!第一期運営協議会委員さんが夜10時過ぎても終わらないアイデア続出、白熱した討議の連続がつい昨日のように思います。今、文化の森は古典から近代までの芸能活動、講座開催、異文化交流からアート活動まで、ほんとに多分野にわたる文化交流、イベント開催が花開いています。人と楽しく交わる。これは元気で長生きの秘訣です。『区民の手で区民の力で文化を創り出し行動していこう!』、という拠点としての活動は着実に芽を出し輪が広がっています。人と人とが集い、交流し、何かを生み出していく、なんと楽しいことでしょう。これは人間に与えられた素晴らしい力。これからもたくさん種を蒔いて大田に文化の花を咲かせましょう。私も活動していきます。

宝仙学園短期大学講師 佐藤 佳代子



2007年下期(10月~3月)

企画実施アルバム

200年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込
多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森

2007年下期 (10月~3月)

企画実施アルバム

今年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントの中からいくつかを写真でご紹介いたします。文化の森での活動を知っていただき、皆様の参加をお待ちしています。



■ 子ども若者たちの実行委員会
「親子でひなまつりを楽しむ」2月24日(日)
『参加した親子で桜もち作りを体験!』



■ 運営協議会企画
文化ボランティア養成講座」2月15日(金)
『回数を重ねて大成功! 内容の濃い文化プレーヤー養成講座になりました』



■ 誰でも楽しめる実行委員会
「森のアート」11月12日(水)
『童心に返ってどんぐりのコマや3色の色鉛筆のブローチ作り。講師は森林インストラクターの松原 也氏』



■ まちづくり実行委員会
「和の動きで楽しくできる健康舞踊体操」3月3日(月)
『動きも軽やか、ウキウキ、ニコニコ』

特集

新たな自分の発見、
新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をやるのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



■ サロン交流会実行委員会
「サロン交流会」1月19日(土)
『動物のパントマイムを披露するみどりちゃん』



■ 公募企画「和太鼓ふれあいコンサート“絆”」2月23日(土)
『和太鼓を通して“絆”の輪が広がりました』



2007年下期(10月~3月) 企画実施アルバム

2007年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしています。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。



■ 異文化交流実行委員会
「インドの伝統と文化を楽しもう!」
10月14日(日)
『インド古典舞踊団による演技』



■ 芸術事業実行委員会
「世界に一枚だけの子ども服を作ろう!」
10月27日(土)
『ママのセーターが世界に一つしかないお子さんのワンピースに変身!』

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話: 03-3772-0770
FAX: 03-3772-0704

■ 往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号
(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込
多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail: bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■ おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。



森の文化のおおた

文化の森 イベント情報 何でもあり

桜も満開、春を感じる催しものがたくさん開催されます。

最新イベント情報

■ 鈴鹿景子の読み語り「八月の蒼い空」

野坂昭如著『戦争童話集』を女優鈴鹿景子の読み語りで上演。平和祈念を忘れずに伝える
□開催日時:8月6日(水)14:00~15:30/19:00~20:30 □会場:大田文化の森ホール □
チケット:前売2,000円(中学生以下1,000円)、当日券2,200円(中学生以下1,100円)、大田文
化の森にて6月6日10:00から発売

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■ 中国の音楽と舞踊

中国楽器の音色、構造、歴史や邦楽器との違いを紹介しながら演奏と中国各地に伝わる特色ある舞踊も紹介。

□開催日時:8月24日(日)14:00~16:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:1,200円、大田文化の森にて6月24日10:00から発売(未就学児不可)

■ おはなしのへや

絵本・紙しばい・手あそびなど、読み聞かせを中心とした幼児・小学生対象のおはなし会。おともだちやママといっしょにあそびにきてね!

□開催日時:毎月第1・3木曜日15:00~15:30 □会場:保育室他 □当日直接会場へ □
参加費:無料

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■ パワーアップ育児力! ~ 私らしい育児発見講座 ~

子育てを楽しむために“私らしさ”を見つめ直し、ハッピー育児に役立てていきます。

□開催日時:7月4・11日(金)9:45~11:45 □会場:4階第2集会室 □参加費:2,000円(茶菓子付、保育は一人1回につき1,000円) □定員:抽選で20名 未就学児の育児中のママ(保育は抽選で9名) □申込:6月20日(金)必着(保育希望者はその旨を明記)

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■ ふれあいギャラリー開催スケジュール

<微笑みの国タイ 夏休み奮闘記! ~ 少年海外研修事業 活動記録展 ~>

夏の14日間、中学生・高校生の約20名と共に行く冒険の旅。過去3年間の記録をもとに写真やクイズ式パネルなど国際交流活動やタイの文化を紹介。□開催日時:3月24日(日)~4月6日(日)9:00~17:00 □会場:4階ふれあいギャラリー □入場無料 直接会場へ

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

<彩り美しい 花鳥墨絵展>

文化の森の公募企画から立ち上がったサークル水墨南画サークル「竹翠会」の習作展。花や鳥など心とむ作品がみなさんをお待ちしています。□開催日時:4月8日(火)~4月21日(月)9:00~17:00 初日は13:00より ※10日は休館日 □会場:4階ふれあいギャラリー □入場無料 直接会場へ

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■ 手話ダンスミニフェスタ

手話劇、ダンス、歌、全て手話づくし。バイオリンの演奏 民謡あり。さあ! みんなで楽しみましょう

□開催日時:3月19日(水)午前10時~12時30分 □会場:大田文化の森5階多目的室 □定員:先着200名※直接会場へ

[※詳しくはこちらをご覧ください。](#)

■ だれでもできるデジカメスライド教室

□開催日時:4月4日(金)4月11日(金)4月18日(金)4月25日(金)5月2日(金)いずれも13:30~15:30 □会場:大田文化の森4階第4集会室 □参加費:2,000円(全5回) □募集対象:デジカメで写真を撮ったことがある方、パソコンを打ったことのある方 □募集人員:20名

特集

新たな自分の発見、 新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

(応募多数の場合は抽選) □応募方法: 往復はがきに、住所・氏名・年齢 ノート型パソコン持参可否(パソコン持参できない方は当方にて用意致します)を明記の上、お申し込みください 3月21日(金)必着

※詳しくはこちらをご覧ください。

■カラーコーディネート入門講座

美意識の軸、「ベストカラー」と「ベストスタイル」。知っている、流行や年齢に左右されない自分らしさを表現できます。美しい色の心理的効果と配色のコツを知り、おしゃれやインテリアなど、毎日のライフスタイルにこだわりを持って楽しく活用してみませんか。

□開催日時:4月12日(土)、4月26日(土)、5月10日(土)、5月24日(土)、6月7日(土)《全5回》各10:00~11:30 □会場:大田文化の森 4階 第2集会室 □参加費:5,000円(5回分) ※当日集金 □定員:15名 ※応募者多数の場合は抽選 □対象者 色彩に興味のある方などなたでも □申込:3月21日(金)必着

※詳しくはこちらをご覧ください。

■アジア大好き体験講座～食と文化～

アジアの魅力的な文化を現地出身の方々(日本語会話OK!)と、アジア大好きな日本人がご紹介いたします。興味のある方などなたでもご参加できます。この機会に是非、魅力的なアジア文化をご堪能下さい。お気軽にどうぞ!

□開催日時:4月19日(土)、5月10日(土)、6月14日(土)、6月28日(土)、7月12日(土) 時間と内容は各回によって異なります。チラシをご覧ください。□参加費:全5回 ¥6000- (4月19日(土)初日にお支払い頂きます。) □申込:4月4日(金)必着

※詳しくはこちらをご覧ください。

■子育て支援弦楽四重奏コンサート

子育て中の皆様に応援するコンサート。

□開催日時:4月6日(日)午後2:00~3:00 □会場:於 大田文化の森 ホール □定員:抽選で250名 □参加費:500円(4歳から小学生は無料)、無料託児抽選で30名(3歳以下)

※詳しくはこちらをご覧ください。

楽しいイベントが一杯! ホール、多目的室、広場等で行われるイベント

■やすらぎの名曲コンサート

ソプラノとヴァイオリン、ピアノで贈るクラシックや童謡による癒しのコンサートに無料ご招待 □開催日時:5月11日(日)①13:30~15:00、②16:30~18:00 □会場:大田文化の森ホール □定員:抽選で各回200名 □入場無料 □申込:4月20日必着(希望の回、代表者の氏名・住所・年齢・電話番号と参加希望者全員の氏名を明記)

※チラシはこちらをご覧ください

■文化の森フォーラム

「自分を発見、出会いから!輝くボランティア」をテーマに、明るく楽しい活動を目指して、みんな語りあう。講演会と公開討論会と交歓会を開催。入場無料(第1部)基調講演、(第2部)公開討論会、(第3部)交歓会 □開催日時:5月17日(土)13:30~18:00 □会場:多目的室、展示コーナー □当日直接会場へ*詳細は1ページ(表紙)を参照願います。

■この音なあに?

~障がいのある子どもたちのためのコンサート~障がいのある子どもたちが本物の音にふれ、楽器を身近に感じることができる楽しいクラシックコンサート

□開催日時:6月8日(日)①14:00~14:30、②15:30~16:00 □会場:5階多目的室 □定員:抽選で各回100名 □入場料:500円(1歳以下無料、但し、保護者の膝の上) □申込:5月20日必着(希望の回、代表者の氏名・住所・年齢・電話番号と参加希望者全員の氏名・年齢を明記)

※チラシはこちらをご覧ください

■大田文化の森落語会季節寄席<夏>

500円玉で楽しめる落語会「季節寄席」。出演は、中央1丁目在住の三遊亭時松(二つ目)。笑いを通して地域の活性化を図る。演目は未定

□開催日時:6月21日(土)15:00~18:00 □会場:5階多目的室 □チケット:前売500円、当日700円、大田文化の森にて5月21日10:00から発売(未就学児不可)

※チラシはこちらをご覧ください

■誰もが楽しめるモーツァルトのオペラ「魔笛」

室内楽の生演奏でオペラを身近に鑑賞。台詞もアリア以外は日本語で上演し、大人から子どもまで楽しめる

□開催日時:7月5日(土)①13:30~、②18:00~21:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:前売2,500円、当日3,000円、小・中学生(前売1,000円、当日1,500円)、大田文化の森にて5月10日10:00から発売(未就学児不可)



2007年下期(10月~3月)

企画実施アルバム

200年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。



寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■“歌への誘い”for you!! ～障がいのある方とご家族へ贈るスペシャル・コンサート～
声楽アンサンブルを中心としたクラシックの名曲・日本の童謡・アニメ曲で構成した本格的なコンサート

□開催日時:7月6日(日)14:00～16:00 □会場:大田文化の森ホール □チケット:一般1,500円、障がいのある方・2歳～小学生1,000円、大田文化の森にて5月19日10:00から発売

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■アルゼンチンタンゴ歌手 香坂優の歌でつなぐ国際交流

第1部:アルゼンチンってどんな国、第2部:タンゴの歌プレゼント、第3部:あなたもチャレンジ
香坂優の歌レッスン

□開催日時:7月12日(土)18:00～20:30 □会場:5階多目的室 □チケット:2,000円、小・中学生500円、大田文化の森にて5月26日 10:00から発売(未就学児不可)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

 **体験してみよう!** 日頃なかなか体験できない貴重なイベント

■わくわくトータルフィットネス

障がいがあっても無くても共に支えあう共生社会を目指したユニバーサルフィットネスで心や体を元気にし障がい原因となる運動不足を補い身体能力を高める

□開催日時:5月3・17日、6月7・21日、7月5・19日(各土)14:00～16:00 □会場:1階第1スポーツスタジオ □参加費:3,000円 □定員:抽選で15名 □申込:4月18日必着

■お孫さんと一緒にソルフェージュ!

音符やリズムを覚えたり、楽しく歌って脳トレしましょう。お孫さんと共通の趣味は音楽に!!

□開催日時:5月9・16・23・30日、6月6・13日(各金)10:30～11:30 □会場:4階第2集会室
□参加費:3,000円(3歳以上の未就学児と祖父母の2名1組) □定員:抽選で15組 □申込:4月18日必着(お孫さんの氏名・年齢を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■心と身体の健康づくり

～音楽療法による心と身体のケア～

音楽の力を利用して心身ともに健康を促進することを学ぶ

□開催日時:5月24・31日(各土)、6月15日(日)13:30～15:30 □会場:1階第1音楽スタジオ
□参加費:1,500円 □定員:抽選で18名(成人) □申込:5月12日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■七夕と子ども茶会を楽しみましょう

七夕のお話とお琴の演奏を聞きながら簡単なお茶の作法を学び、抹茶と和菓子をいただきます

□開催日時:7月6日(日)13:00～16:00 □会場:3階和室 □参加費:300円 □定員:抽選で小学生親子15組 □申込:6月23日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■わくわく科学の森～ドライアイス・パワー

小学生の親子で取り組む科学の実験講座。わかりやすい実験で子どもたちの科学への興味を引き出す

□開催日時:7月19日(土)9:30～11:30 □会場:3階美術室 □定員:抽選で親子15組 □参加費:100円 □申込:7月5日必着

■夏休み集中企画～こども落語講座

夏休みに落語家を講師に招き、古典落語を通し江戸庶民の日常、風習などに親しむ

□開催日時:7月23・28日、8月1・4・20・27日 ①13:15～14:45、②15:15～16:45 □会場:3階和室
□参加費:3,000円(①小学2～4年生、②小学5～中学生) □定員:抽選で①②各25名 □申込:7月9日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770 / FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

📖 生活・心に役立つ講座 知的好奇心を満足させる魅力あるイベント

■子どもを伸ばすコミュニケーション術

小手先の技術だけでなく、知られていないコミュニケーションの本質について学ぶ

□開催日時: 5月13・27日、6月10・24日、7月1・15日(各火) 9:30~11:45 □会場: 4階第2集会室 □参加費: 5,000円(保育は一人1回につき800円) □定員: 抽選で30名(保育は抽選で6名) □申込: 4月28日必着(保育希望の方はその旨を明記)

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■楽しい和服リメイク講座 & 作品発表会

手持ちの和服で大人や乳幼児の洋服、ベビー甚平等を作り、最終回には完成作品を発表

□開催日時: 5月16・23・30日(各金)、6月7日(土) 10:00~11:45 □会場: 4階第3・4集会室、和室 □参加費: 1,000円 □定員: 抽選で20名(未就学児の同伴可) □申込: 4月24日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■ガーデニング講習会~ハーブの寄せ植えを楽しむ講習会~

ハーブの特性や育て方について学び、ハーブ料理に生かす寄せ植え

□開催日時: 5月25日(日) 14:00~16:00 □会場: 3階工芸室 □参加費: 1,500円 □定員: 抽選で30名(小学生以上) □申込: 5月12日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

■みんなちがって、みんないい!

読み、書きの困難LD(学習障害)について一般の方々への理解を図るための講演会

□開催日時: 6月1日(日) 13:30~15:30 □会場: 4階第3・4集会室 □参加費: 500円 □定員: 抽選で50名 □申込: 5月16日必着

■浮世絵へのいざない [I]

浮世絵に秘められた物語を読み解き、江戸時代の伝統文化の新しい魅力を再発見

□開催日時: 6月4・18日、7月16日(博物館見学)・30日、8月6日(各水) 14:00~15:30 □会場: 4階第2集会室 □参加費: 2,500円 □定員: 抽選で30名 □申込: 5月20日必着

■ハーブを使った家庭料理講習会

新鮮なハーブを使ってタイ風の家庭料理に挑戦

□開催日時: 6月8日(日) 10:00~14:00 □会場: 3階調理室 □参加費: 1,000円 □定員: 抽選で30名(中学生以上) □申込: 5月23日必着

■日本から見た「中国」と中国から見た「日本」

北京オリンピック年に因み、日本の研究第一人者、王敏氏が今の中国を比較文化論の観点から語る

□開催日時: 6月29日(日) 14:00~16:00 □会場: 4階第3・4集会室 □参加費: 500円 □定員: 抽選で65名 □申込: 6月16日必着

[※チラシはこちらをご覧ください](#)

申し込み・問い合わせ

〒143-0024 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会まで

電話: 03-3772-0770 / FAX: 03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

■ホール・多目的室で開催されるイベントのチケットは、原則自由席で、発売は大田文化の森受付になります。

文化の森を利用した区民による「企画」を募集

採用された企画は、施設使用料と付帯設備使用料が免除及び実施日時の優先確保があります。

□実施期間:平成21年4月～平成22年3月 □説明会:6月26日(木)14時～、19時～ 第4集会室 □申込方法:所定の応募用紙で郵送または持参。7月31日(木)必着 ※応募用紙は6月1日から配布([こちらのHPからダウンロード可](#))



おおた文化の森

おおた文化の森カタログ 文化の森ってどんなところ?何をやっているの?

Q1. なんのための施設?

大田区が2001年11月3日に開設した区民の文化活動支援のための中心施設です。大田区政の基本方針となっている長期基本計画「おおたプラン2015」にはこう書かれています。『大田文化の森は区民が学び、演じ、交流を行う文化創造の拠点として中心的な役割を果たします。施設の管理運営にあたっては、地域の実情に合わせた区民や団体による自主運営など多様な方式を積極的に取り入れ、より利用しやすく、親しみのもてる施設にします。』

Q2. どんな施設なの?

ホール(定員259人)、集会棟(5階建)、広場(185m2)から成り、2階には情報館、地下には有料駐車場(33台)があります。

Q3. 運営・管理はどうしているの?

事業運営は、大田区から委嘱された区民による運営協議会(事務室4階)が行っています。事業には、1.任意登録の文化プレーヤーによって実施する「実行委員会企画」と、2.区報・情報誌等で公募した区民によって実施する「公募企画」、3.「運営協議会と共催で行う事業」の3種類があります。管理は(財)大田区文化振興協会(情報館・貸館の運営を含む)が行っています。詳しくは利用案内をご覧ください。

Q4. どんな利用ができるの?

●企画の実施

1.文化プレーヤーに登録して実行委員会または文化プレーヤー事業部に参画する、2.「公募による事業」に応募する、3.運営協議会と共催で行う

●ボランティアとして参画

文化プレーヤーに登録して希望のボランティア活動をする

●貸館を利用する

うぐいすネット(コンピュータを活用した登録制の申込システム)を利用するか、うぐいすネットが設置されている大田区の集会施設窓口で申込む。(詳しく[こちら](#))



ちょっとここでコーヒーブレイク

飲み物・軽食をご用意して皆様のご来店をお待ちしています。

営業時間 10:00~17:00

定休日 隔週月曜・全館休館日

特集

新たな自分の発見、新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。

大田文化の森 アクセス情報



バスの場合、どの駅から乗っても「大田文化の森」停留所で下車、徒歩1分

- 東急池上線池上駅より
東急バス上池上循環 大井町駅行き、品川駅行き、大森駅行きに乗車
- JR大森駅(西口)より
東急バス上池上循環 池上駅行き、蒲田駅行き、洗足池行きに乗車
- JR蒲田駅(西口)
東急バス大井町行き 荏原町駅入り口行きに乗車

連絡先

■大田文化の森運営協議会事務局
〒143-0024 大田区中央2-10-1
電話:03-3772-0770/FAX:03-3772-0704

詳しい地図は[こちら](#)をクリックしてください。地図検索サイトNAVITIMEにリンクします。



2007年下期(10月~3月) 企画実施アルバム

200年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森にもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704
■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。

おおた文化の森



◆企画内容が充実してきております。参加者・来館者が増えていることはうれしい限りです。「文化の森」で文化活動してみませんか。まずは、ふらりとお出かけください。

青柳博之

◆春です！学校も役所も会社も、そして“文化の森”も新年度のスタートです。私も気持ちを新たに、新緑と春の花のように、清らかな視線で、物事を捉えるように努力したいと思いません。

奥田 和子

◆情報誌では、大田区内で活躍されている方々の紹介等などのスペースも増え、取材も忙しくなってきました。同時に文化の森で活動される、文化プレイヤーの皆さんの活躍も目覚しくなって参りました。常に新しい情報を取り上げて、皆さんに親しんでいただける情報誌にしていきたいと思っています。

北岡 三子

◆春になるとなんだかワクワクします。新しいことがいろいろと始まるからでしょうか…。最近関心のあることは「世代を越えた交流」。文化の森では、赤ちゃんからお年寄りの方までとても幅広い出会いがあり毎日楽しく過ごしています。ぜひみなさんも一緒にいかがですか？

小関みどり

◆梅が咲き終わり、桜の開花宣言！「今年こそ春の先取り～河津桜を観に行きたい」と毎年毎年思いつつ…やはり行けませんでした。また、来年の春こそは、と希望を捨てず、この一年平和に過ごしたいものです。

佐藤 佐智枝

◆ボランティアは楽しく、ゆっくり、無理をせず、そして続けていくことも大切だとある人が言っていた。この情報誌づくりにもいえるのかもしれない。続けるにはボランティアの心を楽しく、ゆっくり、無理せずに伝えていくこと。新年度からまた頑張ろう!!

宗 正雄

◆木々が色づき始める季節になると一年の時の速さを感じる。来年こそ…明るく良き年にと祈る。

矢野マサ子

◆平凡極まりない表現ですが「光陰矢のごとし」です。どこか不穏な冬が済んで今年はどうな夏なのでしょう？多少な混乱や迷いの中から新しい胎動は生まれてきます。一途で一生懸命な文化プレイヤーや運営協議会の活動が、この情報誌に適切に反映しているか、いつも思っています。

2008年4月（編集長）福野 幸雄

過去の編集後記はバックナンバーからご覧下さい。

特集

新たな自分の発見、 新しい人との出会いの場

読み応えのあるコラムが自慢



日頃まちづくり活動をしている人を支援し、元気になるイベントを行いました。数々のワークショップやイベントで地域の活性化に貢献しています。

運営協議会委員の志

「私の」文化の森

文化の森運営協議会委員の方に、志を語っていただきました。今回は中屋錦江さんです。



文化の森で活躍している実行委員会をご紹介します。今回は「子ども若者たちの実行委員会」です。



今回は大田区の文化財・伝統技術「大田の藍、池上の藍」である藍染めを守り継承されている高橋染工場・代表の高橋利至さんです。



文化の森で活躍でのボランティア活動のご案内です。今まで興味はあったけど何をするのか分からなかった方、是非読んでみてください。

ここに花あり おおた花百景

立派な花壇でなくても良いから街を歩いているときに癒されるスポットをご紹介します。今回はVol.22でもご紹介いたしました入新井公園のその後をご紹介します。



外部有識者の方に文化の森での活動に対するコメントや期待を語っていただきました。辛口のコメントも飛び出します。



2007年下期(10月~3月)

企画実施アルバム

2007年の下期(10月~3月)に行われた企画イベントを写真と共に紹介します。文化の森の活動がよく見えてくると思います。

イベント情報 文化の森でもあり

寒さが身にしみる季節、文化の森はホットで魅力あるイベントが目白押しです。参加お待ちしております。

文化の森について アクセス&MAP

文化の森の簡単な説明と、各種交通アクセスなどを紹介しています。

編集後記

編集後記

編集長の主張が実は一番凝縮されている部分が「編集後記」かもしれません。文化の森の顔FACEであり文化の森の旗FLAGでありたい、そんな気持ちがつまっています。

申し込み・問い合わせ先

〒143-0024 大田区中央2-10-1
大田文化の森運営協議会まで
電話:03-3772-0770
FAX:03-3772-0704

■往復はがきに「講座名」・氏名・住所・電話番号(FAX)をご記入願います(1枚のはがきに1講座)。申込多数の場合は抽選となります。

大田文化の森Vol.27Web版
2008年4月1日発行
発行 大田文化の森運営協議会
編集人 福野幸雄
〒143-0024 東京都大田区中央2-10-1
電話 03-3772-0770
FAX03-3772-0704
E-mail:bunkanomori@nifty.com
大田文化の森運営協議会Webサイト

■おおた文化の森は隔月1万部発行、大田区公共施設・郵便局などにあります。